

市議会 9月定例会 行政報告（9月25日）

市議会 9月定例会最終日にあたり行政報告いたします。

新発田市歌の制定について

新発田市歌の制定について御報告いたします。

現在の新発田市歌につきましては、昭和22年1月1日に新発田市が誕生したことを記念して制定されたものであります。

制定当時は、さまざまな行事で歌われるなど市民の皆様に親しまれておりましたが、現存する録音テープは音源が老朽化していることから聞き取りにくく、現在の市歌を行事等で活用することは難しい状況にあります。

加えて、市民の方から「合併後の新市に相応しい歌詞を」というご意見や昨年の9月定例会においては「歌詞の見直しを含めた市歌の制定を」とのご質問もいただいております。

こうしたことから、今年五月に、今後の市歌のあり方についてご審議いただくため、音楽に造詣が深い市民の方々など六名で構成する「新発田市歌制定委員会」を設置いたしました。

市歌制定委員会では、これまで新市歌の制定の必要性や現市歌の取扱いなどについて3回に渡りご審議いただき、このたび、概ねの方向性がまとまったことから、9月16日に「新発田市歌制定委員会」委員長より中間報告としてのご提言をいただいたところであります。

ご提言では、市民の郷土愛や一体感を育むため、言葉で表現した「新発田の特徴や雰囲気などのイメージ」を広く公募しつつ、新しい市歌を制定すること、新市歌の制作は、作詞、作曲等を総合プロデュースできる方に依頼すること、現在の市

歌については、歴史的に価値のあるもので、後世に記録として残すべきであり、市民主体で再録音すること、また、新市歌の制作を依頼する候補者としては、国内はもとより海外のアーティストからも称賛される幅広い音楽性を持ち、当市では自費を投じて「神奈川フィルコンサート」を開催いただいたこともある新発田高等学校出身で、現在、東京佼成ウインドオーケストラミュージックアドバイザーであるこうせい藤野浩一ふじのこういち氏のご推薦などの提言をいただいております。

市といたしましては、これらのご提言を踏まえ、将来に希望を持てる「新生しばた」にふさわしいイメージを創出し、市民の皆様に親しまれる新しい市歌を制定してまいりたいと考えております。

なお、新市歌の制作につきましては、新庁舎の竣工及び開庁式典等とうを念頭に来年度中の完成を目指しており、早々に着手する必要があることから、12月定例会において所要の経費を上程させていただきたいと考えておりますので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上で、行政報告を終わります。